

再編交付金で事業を実施しました

平成19年度から、「駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法」第6条の規定により、在日米軍再編による住民生活の安全に及ぼす影響が増大する市町村に対し、公共施設の整備、住民生活の利便性向上や産業の振興に寄与する事業を対象に、国から再編交付金が交付されています。周防大島町には、平成22年度に1億3,169万2千円が交付され、次の事業を実施しました。

○防災に関する事業

- ・ 防火水槽整備事業 (40 m³) 700万円
西三蒲に整備しました。
- ・ 避難所用投光機整備事業 (4か所) 620万円
各総合支所単位で整備しました。
投光機 各2台
照射式投光機 各1台
発電機 各1台
- ・ 防災備蓄倉庫整備事業 (4か所) 1,910万円
各総合支所単位で整備しました。
- ・ 三蒲漁港陸こう整備事業 (実施設計) 520万円



▲避難所用投光機

○教育、スポーツ及び文化の振興に関する事業

- ・ 観光案内標示設置事業 (23か所) 1,820万円
町内の観光施設や、大島オレンジロード (広域農道) の交差点などに設置しました。
- ・ 教育用パソコン整備 (町内全小学校) 2,480万円
パソコン152台を設置しました。
- ・ 外国語活動推進事業 (基金造成) 4,786万3千円
町内小中学生を対象に、外国語指導助手 (ALT) を雇用するなど、英語によるコミュニケーション能力育成に取り組めます。
- ・ 大島中学校屋内運動場備品整備事業 (備品購入) 332万9千円
折りたたみ椅子やフロアシートを購入しました。



▲教育用パソコン

周防大島町総合計画・後期基本計画を策定しました

この度、「ひと・まち★きらり 周防大島町総合計画」後期基本計画 (平成23年度～27年度) を策定しました。この後期基本計画は、平成18年度に策定した前期基本計画に続く計画で、各種団体の代表者や学識経験者等で構成される周防大島町総合計画策定審議会の意見等を反映し、策定したものです。この計画により、今後5年間にわたって、元気のあるまちづくり、にこにこのあるまちづくり、安心のあるまちづくりを進めてまいります。主な事業は次のとおりです。

☆元気のあるまちづくり【農林業の振興ほか5項目】

有害鳥獣駆除、鳥獣被害防止施設等整備、種苗放流、農漁業生産基盤整備、体験型観光推進、観光・イベント、UJIターン推進ほか

☆にこにこのあるまちづくり【生涯学習のまちづくりほか18項目】

学校校舎・屋内運動場耐震補強、橘斎場・大島斎場増築、公共下水道事業、公営住宅建替、道路整備・改良、CATV活用情報伝達ほか

☆安心のあるまちづくり【地域保健の推進ほか10項目】

東和病院耐震対策、ちびっ子医療費助成、予防接種・検診事業、高齢者・障害者等支援、バス路線運行、防災・防火対策、渡船建設ほか

○町ホームページ <http://www.town.suo-oshima.lg.jp>
トップページ▽タウンガイド▽計画・財政・施策▽周防大島町総合計画 (後期基本計画)

◆問い合わせ

政策企画課 ☎0820 (74) 1007